

日本私立短期大学協会  
図書館情報委員会

短期大学図書館におけるICT活用  
についての研究

—アンケート「データベースの導入状況について」  
の調査結果より ICT活用の将来像を探る—

第三分科会委員

林 政彦（聖徳大学短期大学部）（発表者）

浮谷秀一（東京富士大学短期大学部）

関川敦之（自由が丘産能短期大学）

山下琢己（東京成徳短期大学）

2011.9.8. 於、仙台ガーデンパレス

# 日本私立短期大学協会 図書館情報委員会 アンケート

(調査期間:平成22年10月5日～11月5日)

## 1. 最初に貴館についてお伺いします

(1)短大と大学で共用ですか？（平成22年5月1日現在）

自由記述欄

(2)学内利用者数についてお伺いします。

(3)入館者数についてお伺いします。

(4)貴館の貸出冊数についてお伺いします。

(5)利用者の主な分野についてお伺いします。

(6)貴館の職員数についてお伺いします。

(7)貴館の開館日数についてお伺いします。(平成22年5月1日現在)

(8)貴館の面積についてお伺いします。

(9)貴館の蔵書数についてお伺いします。

## 2. 図書館としてデータベースを導入していますか？

3. 各データベースの利用状況についてお伺いします。よく利用される10種類以内のデータベースについてお伺いします。

4. データベースの導入で紙媒体の雑誌などの講読を中止しましたか。

5. データベースは、補助金の対象となっています。ご存知でしたか？

6. データベースに関することで、ご質問等がございましたら、下記にご記入ください。

データベースを導入された館には、さらに次のようなアンケートを追加して調査しました。  
(調査期間:平成23年2月28日~3月31日)  
(回答数88館)

(1) データベースを導入したため

- ・メリットは (例: 紙媒体をためておかず廃棄できる。)
- ・デメリットは (例: 予算が限られているため図書の購入費を削らざるをえなかった。)

(2) データベースの利用状況について

- ・よく利用されているデータベース名(3つ程度)。(例: CiNii、聞蔵、日経テレコン)
- ・あまり利用されていないデータベースがあるため、今後は中止することを検討している例がありましたらご記入ください。( )

(3) データベースを導入後、紙媒体の雑誌などの講読を中止していない館に、その理由についてお尋ねします。次に該当するものに○をつけてください。

- ( ) 利用者から、これまで通りの紙媒体などの講読を希望しているため
- ( ) 価格が変わらないから、そのまま継続している。
- ( ) その他、何か理由がありましたらご記入ください。

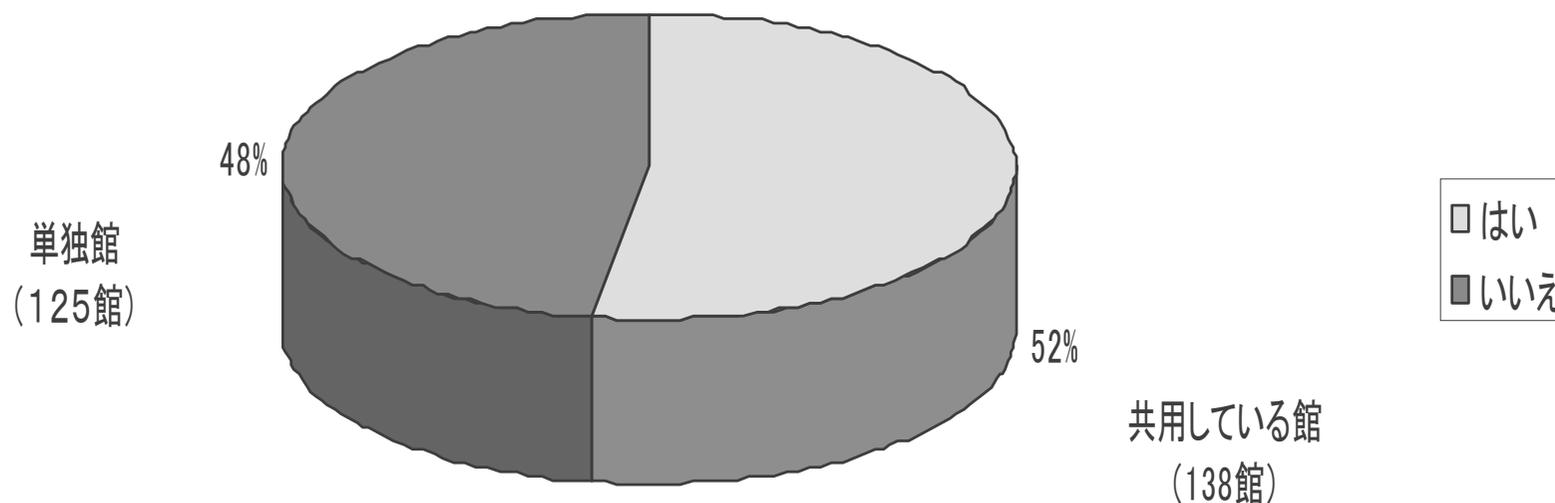
( )



# (1) 短大の単独館あるいは大学との共用かどうかについて

(平成22年5月1日現在)

アンケート回答数: 263館

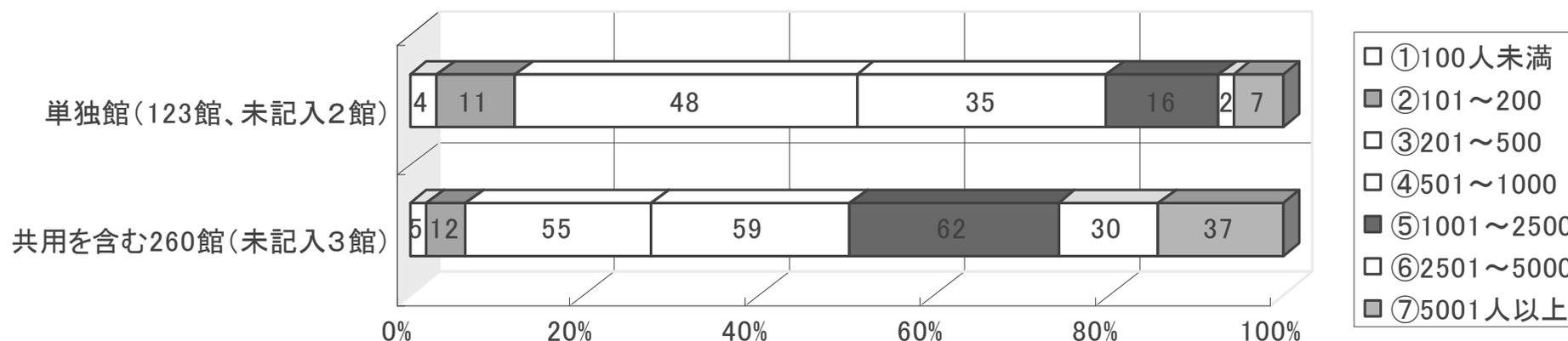


## 自由記述欄

- ・短期大学図書館だが、図書館事務部は大学課と短大課という形で事務業務は協力。利用者は両館も利用可
- ・短大独自の図書館ではありますが、現在導入準備をしている図書館システムは大学と共有。なぜなら本学の学生及び教員の大学図書館の利用も可能で、大学との相互貸借制度もあり現在有効に活用されていて、蔵書の貸出返却を行っているから
- ・独自の機関リポジトリの構築は現在見送っている。
- ・学部二部との共用
- ・中央図書館と中央図書館分室、保存書庫を設置
- ・大学図書館がかなり離れた場所にあるため基本的には単独館ですが、NACSIS-ILLに関しては大学の分館扱い
- ・中学と高校とで共用
- ・図書館は、短大・大学の共用となっている。短大は食物栄養学科と幼児教育学科。大学は3学部ある。
- ・主として短期大学で使用しているが、一部大学院が使用
- ・短大のみの図書館ですが、同じ敷地内に中学・高等学校の生徒も利用できる状況
- ・別キャンパスに大学図書館があり相互利用は可能ですが、共用ではありません
- ・学生数約400名。環境農学科、経営経済科、保育科を設置。21年度学生の平均貸出冊数は9.3冊。OPAC導入未
- ・短大の資料に加えて大学の教育学部図書・資料を配架
- ・短大の単独館であるがまれに併設する高校の生徒が利用することがある
- ・学生の利用に関しては、短大生が対象である(大学生は利用可能)施設のに関しては書庫を共用している。
- ・2010年4月より学芸学部が開設したため4年制大学と共用になった。
- ・本学は中学・高等学校・短大・大学の共用図書館です。
- ・データベースについては、同一法人の付属図書館で(短大生も利用できる)契約。契約料は大学と短大の学生数で按分
- ・2つのキャンパスにそれぞれ大学・短期大学部を設置しており、図書館においても、各キャンパスに大学・短期大学部が共用する図書館を1館ずつ設置しています。(そのため、質問には両キャンパス図書館を合計した数値を記述)
- ・本科は単科(短期)大学です
- ・併設する専門学校と共用
- ・専門学院との共用

## (2) 学内利用者数について

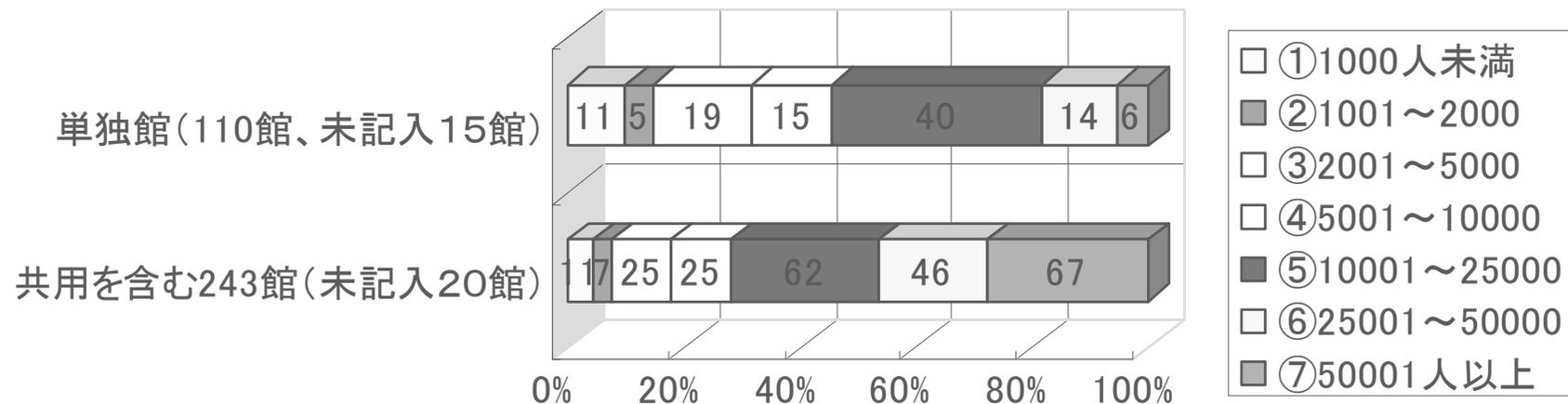
学内利用者数で最も多いのは、単独館は201～500人、共用を含む館は1001～2500人である。共用を含む館は、単独館より規模が大きく、利用者も多いと考えられるため、当然の結果といえる。



\* (社)日本図書館協会による「大学・短期大学・高専図書館調査票」の記入方法に準ずる

### (3) 入館者数について

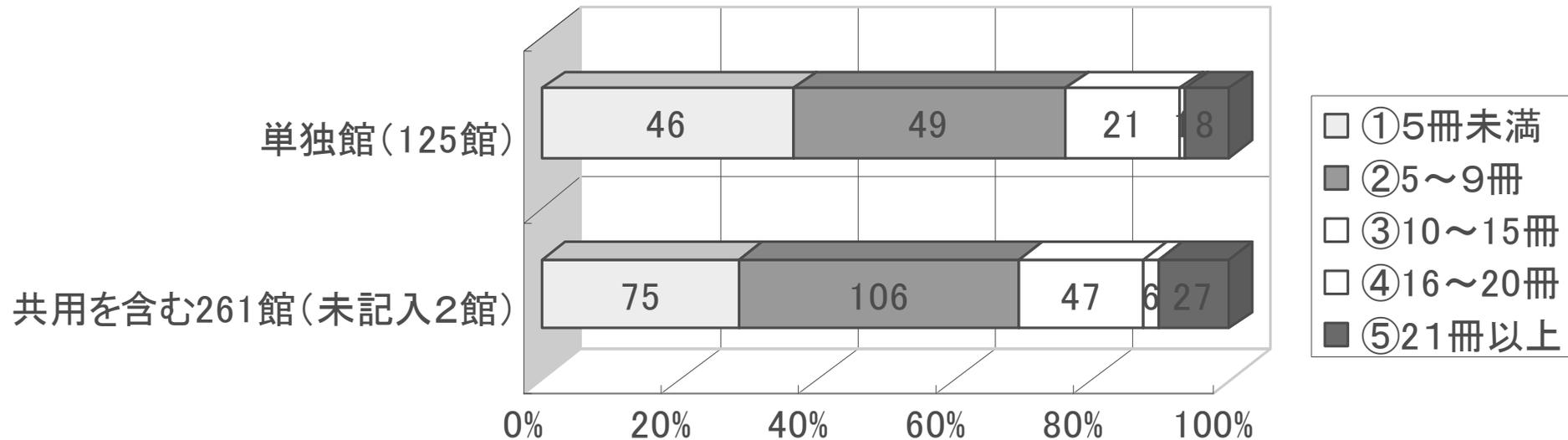
入館者数で最も多いのは、単独館は10001～25000人、共用を含む館は、50001人以上である。共用を含む館は、単独館より規模が大きいため、学内利用者と同様に、当然の結果といえる。



\* (社)日本図書館協会による「大学・短期大学・高専図書館調査票」の記入方法に準ずる

## (4) 貸出冊数について

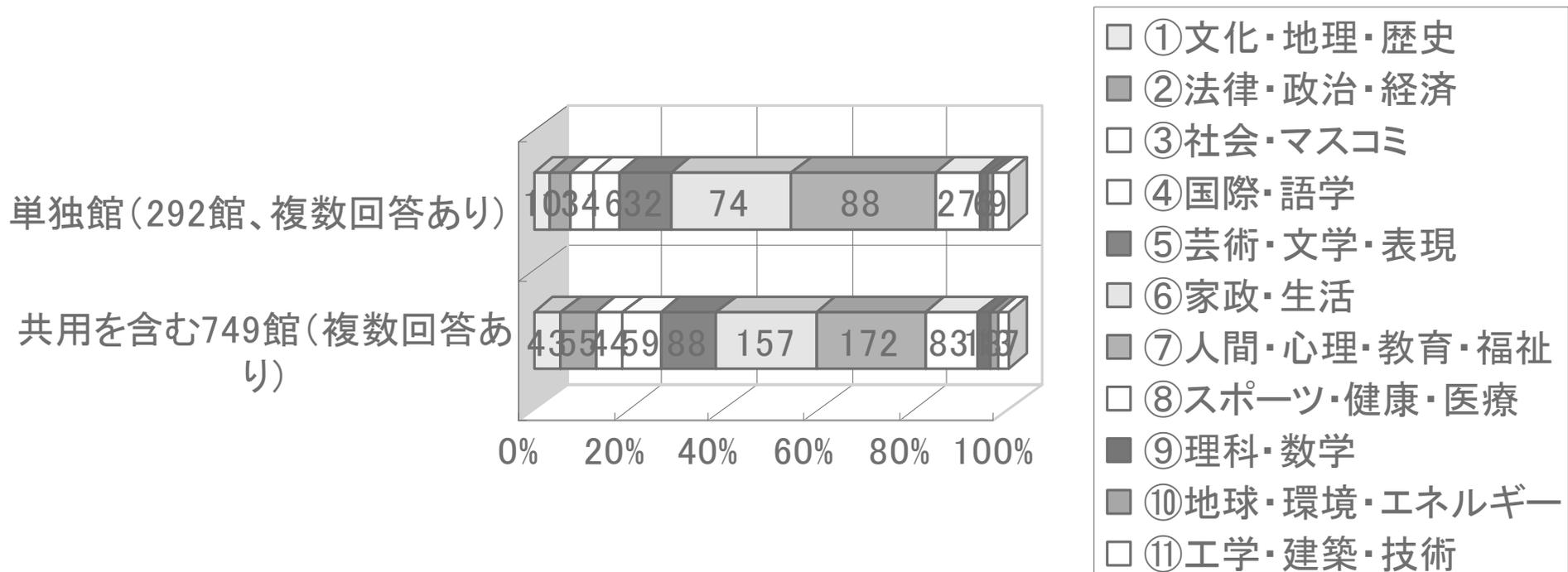
貸出冊数で最も多いのは、単独館と共用を含む館ともに5～9冊である。



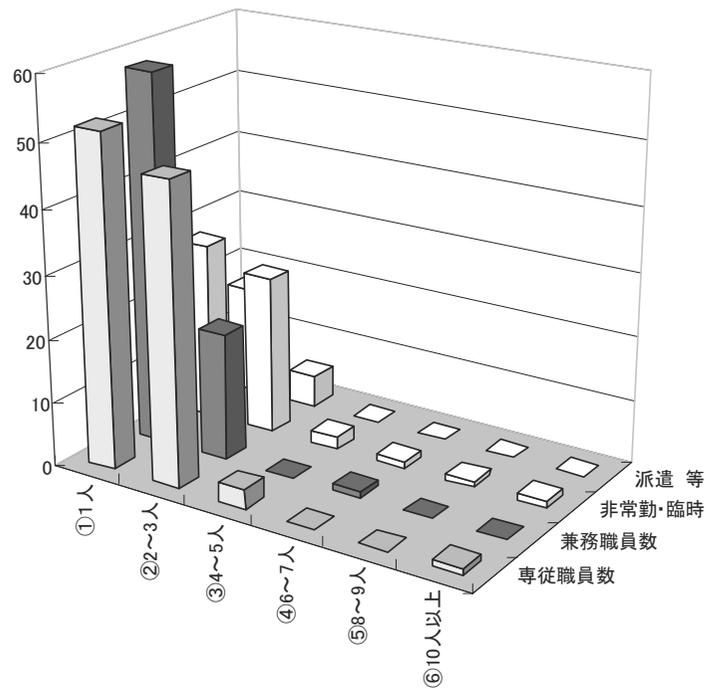
\* (社)日本図書館協会による「大学・短期大学・高専図書館調査票」の記入方法に準ずる

## (5) 利用者の主な分野について

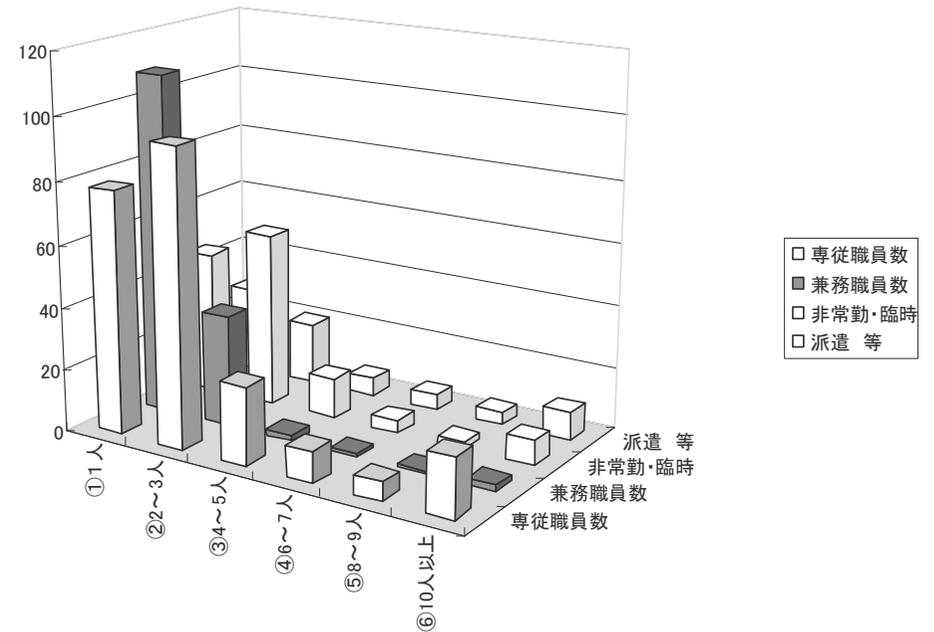
利用者の主な分野では、単独館と共用を含む館ともに「人間・心理・教育・福祉」が最も多い。次に多いのが「家政・生活」である。



## (6) 職員数について



単独館

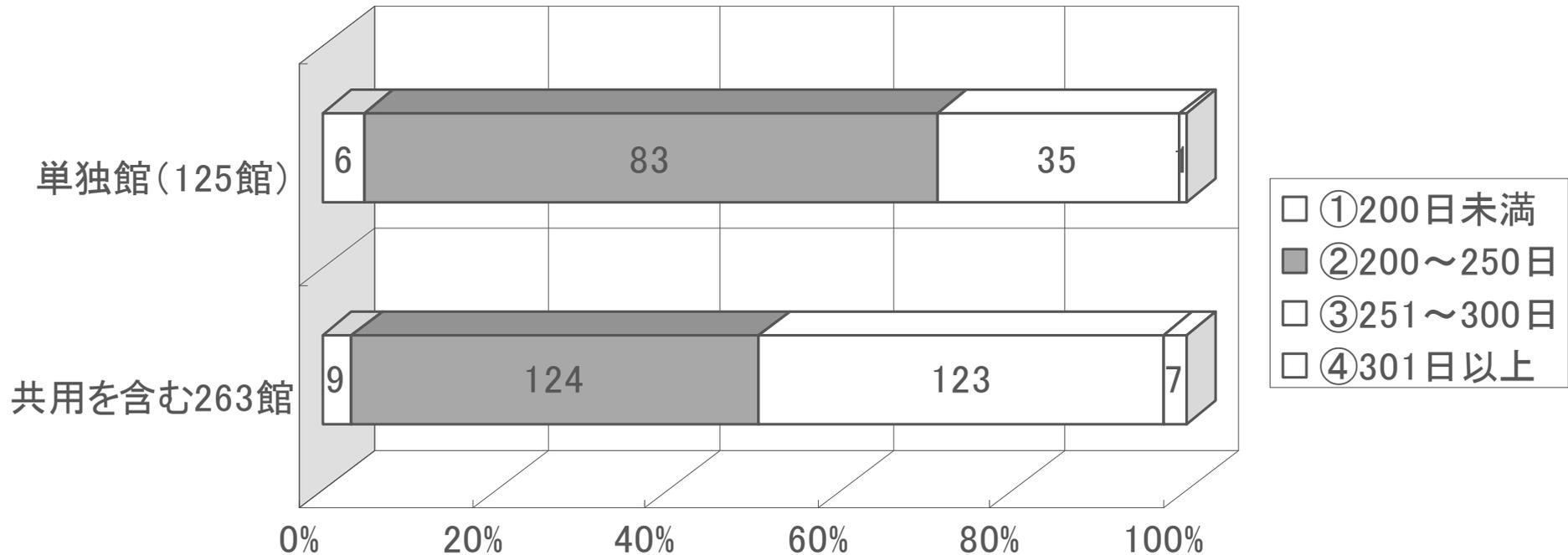


共用を含む263館

\* (社)日本図書館協会による「大学・短期大学・高専図書館調査票」の記入方法に準ずる

## (7) 開館日数について

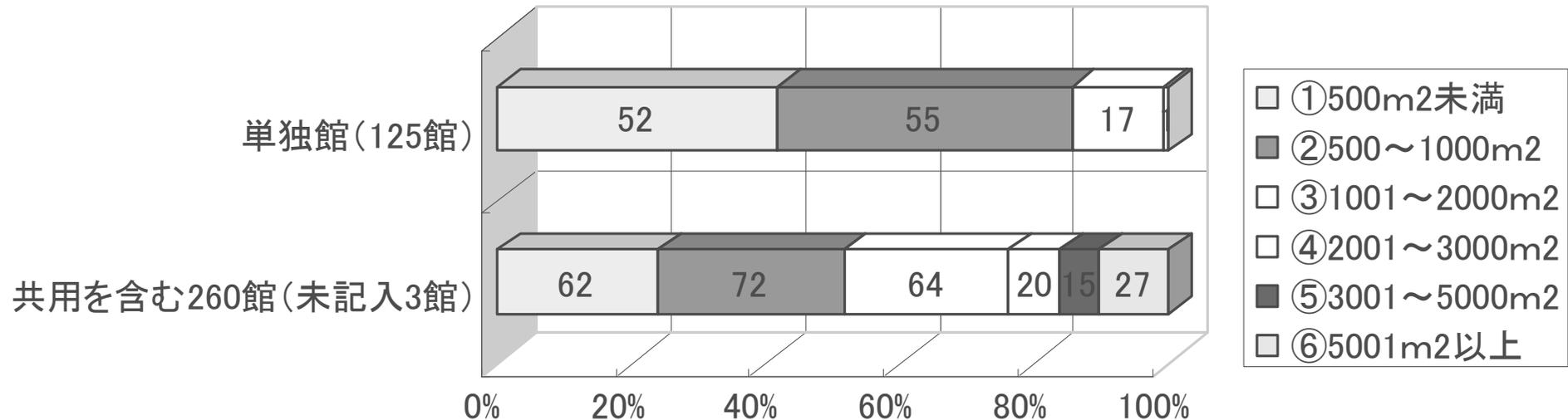
開館日数で最も多いのは、単独館と共用を含むともに200～250日である。次に多いのが251～300日である。



\* (社)日本図書館協会による「大学・短期大学・高専図書館調査票」の記入方法に準ずる

## (8) 館の面積について

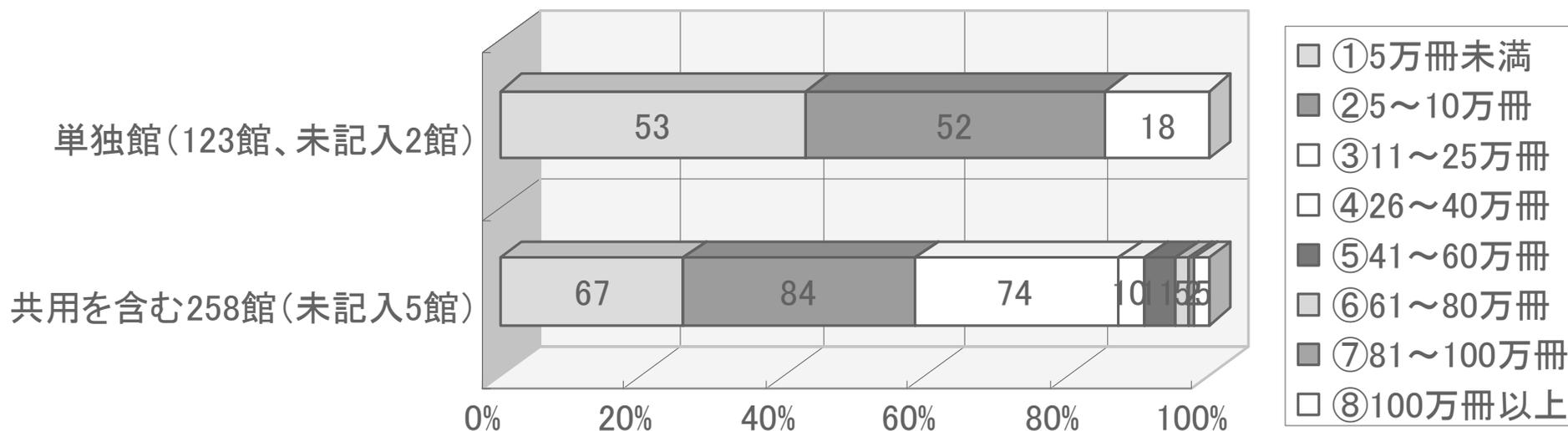
館の面積で最も多いのは、単独館と共用を含む館ともに500～1000m<sup>2</sup>である。



\* (社)日本図書館協会による「大学・短期大学・高専図書館調査票」の記入方法に準ずる

## (9) 蔵書数について

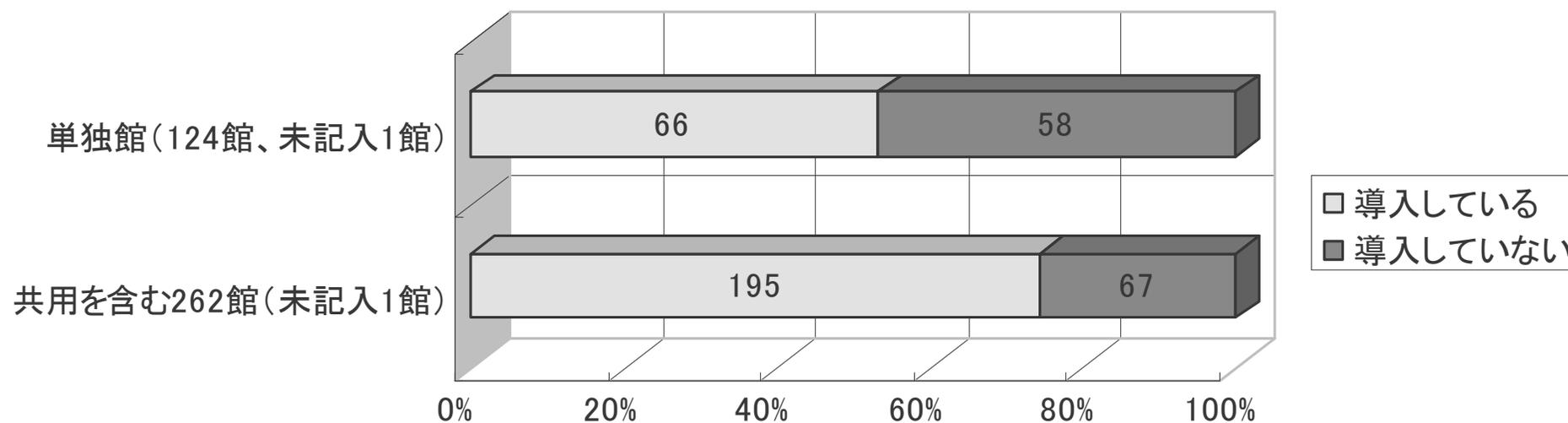
館の蔵書数で最も多いのは、単独館は5万冊未満、共用を含む館は5～10万冊となっている。共用を含む館は、単独館より規模が大きいため、当然の結果といえる。



\* (社)日本図書館協会による「大学・短期大学・高専図書館調査票」の記入方法に準ずる

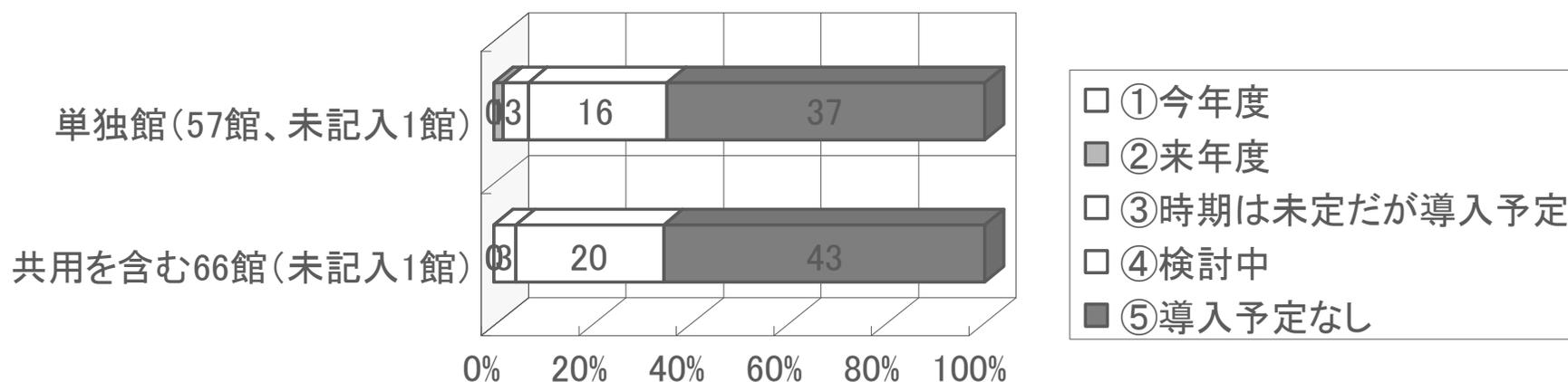
## 2. 図書館としてのデータベースの導入状況について

データベースの導入状況については、単独館の約半数が導入し、共用を含む館は約3/4が導入していることが分かった。



# 導入されていない館で、今後のデータベースの導入予定について

データベースを導入していない館で、単独館と共用を含む館ともに、今後の導入予定はないと回答している館が65%を占める。



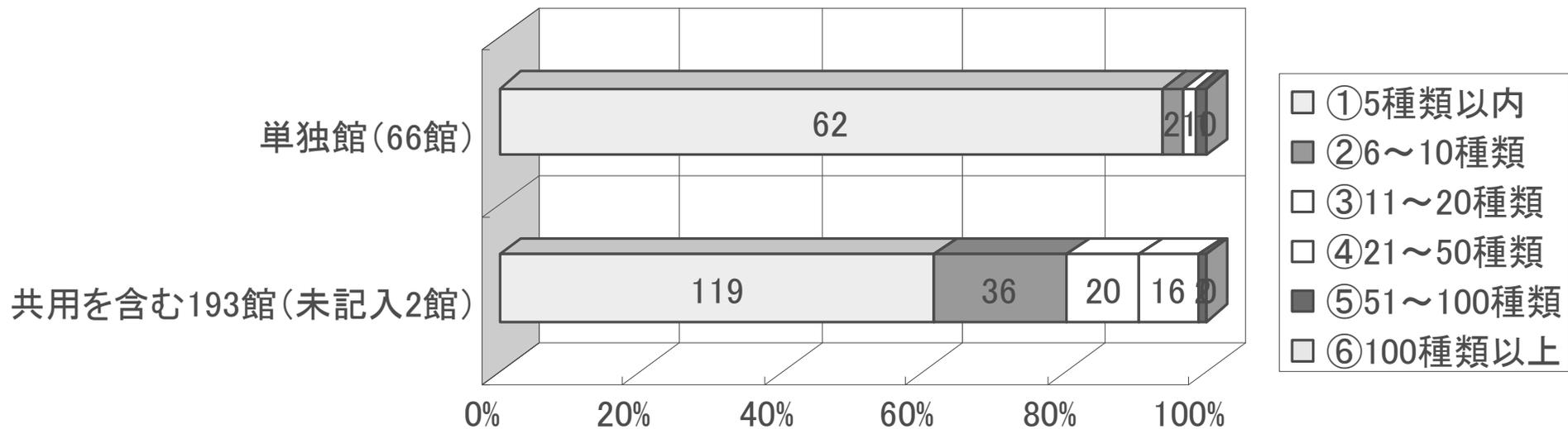
# データベースを導入されていない館の理由について

## 追加したアンケート調査より（回答数31館）（複数回答あり）

- ・ 利用者から、特に要望されていない館は、31館中23館(74%)。
- ・ 価格が高いため、予算がつかない館は、31館中13館(42%)。  
どの程度の契約料なら導入しますかという質問に対して  
→ 20万円以内(1館)、5万以内(1館)、1万円以内(4館)、無料(1館)なら導入。  
その他には年度によって予算が異なるため、一概に答えられないという回答もあった。
- ・ 未導入のその他の理由として
  - ①以前は導入していたが利用者が少ないので中止した
  - ②費用対効果で勘案して優先順位が低い
  - ③購入予算がない
  - ④データベースを利用するようなレベルに達していない
  - ⑤データベースを導入する設備等の環境が整っていない
  - ⑥併設館のデータベースが利用できるため導入していない(3館)
  - ⑦県内大学図書館ネットワークの相互利用協定を活用しているため導入していない
  - ⑧CiNiiや国立国会図書館の雑誌論文の検索で対応できるようになり、経費の節約を求められる  
昨今、有料のデータベースの利用を停止した。
  - ⑨まさに小規模館における利用と供給のバランス上、優先的に高額経費を投下できないのであるが、単に、契約料が高いため問題ではない。限りある予算を効率よく優先順位を上げて、利用者に支障をきたさない方向、方策を検討しつつ取り組んでいることが挙げられる。

# 導入されている館のデータベースの数について

データベースを導入している館で、その数については、単独館と共用を含む館ともに5種類以内と回答した館が最も多い。



### 3. よく利用されるデータベースについて

#### 単独館(66館)が導入しているデータベース

データベース名 (利用館が3館以上)	利用館数	契約について (定額制か従量制か)		契約料について					利用者について			
		① 定額制	② 従量制	① 5万円未満	② 5~10万円未満	③ 10~25万円未満	④ 25~50万円未満	⑤ 50万円以上	① 短大生	② 大学生	③ 院生	④ 教職員
CiNii (国立情報学研究所 論文情報ナビゲータ 含GeNii)	40	32	2	10	25	1	0	0	29	4	3	31
聞蔵Ⅱビジュアル(含聞蔵)	17	17	0	2	0	5	10	0	19	2	2	16
医中誌WEB	13	11	2	0	0	6	6	1	11	3	3	8
日経テレコン21	13	3	7	10	0	1	0	1	12	1	1	11
ジャパンナレッジ(含クラシック)	8	7	0	0	0	5	2	0	8	1	1	8
日経BP記事検索サービス	5	5	0	0	1	1	1	1	5	1	1	5
MAGAZINE PLUS	5	4	1	0	2	2	0	0	3	1	1	5
ヨミダス文書館	4	4	0	0	0	2	1	0	4	1	1	4
Jdream(Ⅱ)	3	3	0	0	0	1	2	0	3	0	0	3

計	132	107	14	24	32	33	24	9	117	18	17	118
---	-----	-----	----	----	----	----	----	---	-----	----	----	-----

## 共用を含む193館が導入しているデータベース

データベース名(利用館が3館以上)	利用館数	契約について (定額制か従量制か)		契約料について					利用者について			
		①定額制	②従量制	①5万円未満	②5~10万円未満	③10~25万円未満	④25~50万円未満	⑤50万円以上	①短大生	②大学生	③院生	④教職員
CiNii(国立情報学研究所論文情報ナビゲータ 含GeNii)	113	101	2	10	52	31	6	0	93	74	58	101
聞蔵(Ⅱビジュアル、DNAなど)	84	77	1	1	0	15	37	26	63	52	40	53
日経テレコン21	53	23	22	14	5	2	1	22	48	37	30	46
医中誌WEB	47	43	4	8	1	15	21	9	36	35	29	42
ジャパンナレッジ(含クラシック)	35	33	0	0	0	17	11	6	31	27	24	25
ヨミダス文書館	31	29	0	0	0	7	11	10	31	29	26	29
MAGAZINE PLUS	29	27	1	2	6	13	4	3	23	22	20	21
Science Direct	24	22	0	0	0	0	3	18	13	14	14	15
メディカルオンライン	20	14	6	2	0	4	2	5	9	9	9	13
Jdream(Ⅱ)	17	15	0	0	0	1	11	3	10	7	6	10

# 共用を含む193館が導入しているデータベース

データベース名 (利用館が3館以上)	利用館数	契約について (定額制か従量制か)		契約料について					利用者について			
		①定額制	②従量制	①5万円未満	②5~10万円未満	③10~25万円未満	④25~50万円未満	⑤50万円以上	①短大生	②大学生	③院生	④教職員
EBSCO(host,Academic Search Premier)	16	13	2	1	0	1	1	11	13	13	13	14
日経BP記事検索サービス	15	15	2	0	2	2	1	10	14	12	11	14
PsycINFO	14	14	0	1	1	0	3	9	10	11	10	13
毎日NEWSパック	13	13	0	0	0	3	8	1	13	13	8	12
日国オンライン	10	5	1	0	0	3	3	2	9	9	8	9
Academic Research Library	9	9	0	0	0	0	0	9	6	8	4	9
Web OYA-bunko	8	7	0	0	1	1	5		7	4	5	7
Westlaw (Japan)	7	6	1	0	1	1	1	2	5	5	4	6
SciFinder (Academic、Scholar)	7	6	0	0	0	0	0	7	6	6	6	6
官報	7	7	0	7	0	0	0	0	6	6	5	7

# 共用を含む193館が導入しているデータベース

データベース名 (利用館が3館以上)	利用館数	契約について (定額制か従量制か)		契約料について					利用者について			
		①定額制	②従量制	①5万円未満	②5~10万円未満	③10~25万円未満	④25~50万円未満	⑤50万円以上	①短大生	②大学生	③院生	④教職員
eol(エスパー)	6	6	0	0	0	0	1	5	4	6	7	6
新聞記事／事典データベース	6	6	0	0	0	2	2	1	4	4	4	6
CINAHL	5	5	0	0	0	0	2	2	3	3	0	4
中日新聞記事データベース	5	5	0	0	0	3	1	0	4	3	3	4
理科年表 (プレミアム)	5	4	0	0	3	1	0	0	3	4	3	3
NICHIGAI/Webサービス	5	5	0	0	1	2	2	0	5	5	3	3
Infotrac (Custom,250,News stand)	5	5	0	0	0	0	5	0	4	5	5	5
PsycARTICLES	5	5	0	0	0	1	1	3	5	5	5	5
北海道新聞記事データベース	5	4	0	0	3	2	0	0	5	3	2	5
Academic Search Elite	4	4		0	0	0	0	4	3	3	2	4

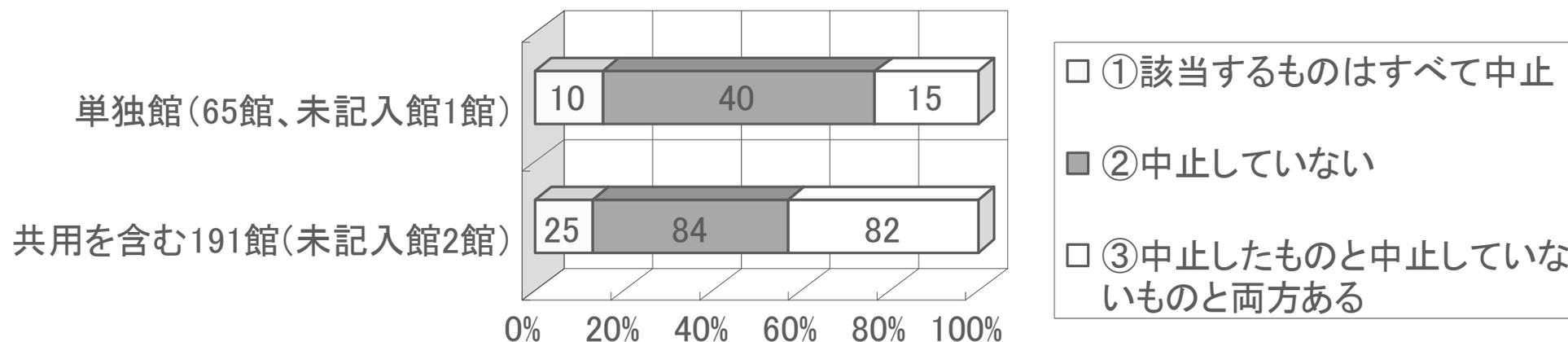
# 共用を含む193館が導入しているデータベース

データベース名 (利用館が3館以上)	利用館数	契約について (定額制か従量制か)		契約料について					利用者について			
		① 定額制	② 従量制	① 5万円未満	② 5~10万円未満	③ 10~25万円未満	④ 25~50万円未満	⑤ 50万円以上	① 短大生	② 大学生	③ 院生	④ 教職員
Book PLUS	4	4	0	1	1	1	0	1	3	3	2	3
G-Search	4	0	4	3	0	1	0		3	3	3	4
JSTOR	4	4	0	0	1	0	0	3	4	4	4	4
Lexis.com(LexisNexisJP, LexisNexis lexis.com, LexisNexisAcademic)	4	4	0	0	0	0	1	3	4	4	4	4
Scopus	4	3	0	0	0	0	0	4	2	2	5	3
SPORTDiscus (with Full Text)	4	4	0	0	0	0	1	2	2	3	3	3
Web of Science	4	3	0	0	0	0	2	1	2	2	2	4
化学書資料館	4	3	0	0	0	3	0	0	2	3	4	3
系統別看護師国家試験問題Web	4	4	0	0	3	0	1	0	3	2	1	4

計	655	566	46	50	81	132	148	182	519	469	401	538
---	-----	-----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

## 4. データベースの導入で紙媒体の雑誌などの講読を中止したかどうかについて

データベースの導入で、紙媒体の雑誌などの講読を中止したかどうかについては、単独館と共用を含む館ともに中止していないと回答した館が最も多い。



# データベースの利用状況等について

○よく利用されているデータベースは、次のとおり。

CiNii、聞蔵(朝日新聞記事)、医中誌、日経テレコン(含、日経PB)、ジャパンレτζジ、ヨミダス(読売新聞記事)など。

○契約は、ほとんどが定額制で利用している。

○金額は、最も多く導入されている CiNii (含GeNii) で平均7万5千円程度である。

○利用者は、ほとんどすべての学生と教職員である。

○説明会等の実施の有無については、半数以上の館(58%)で開催している。

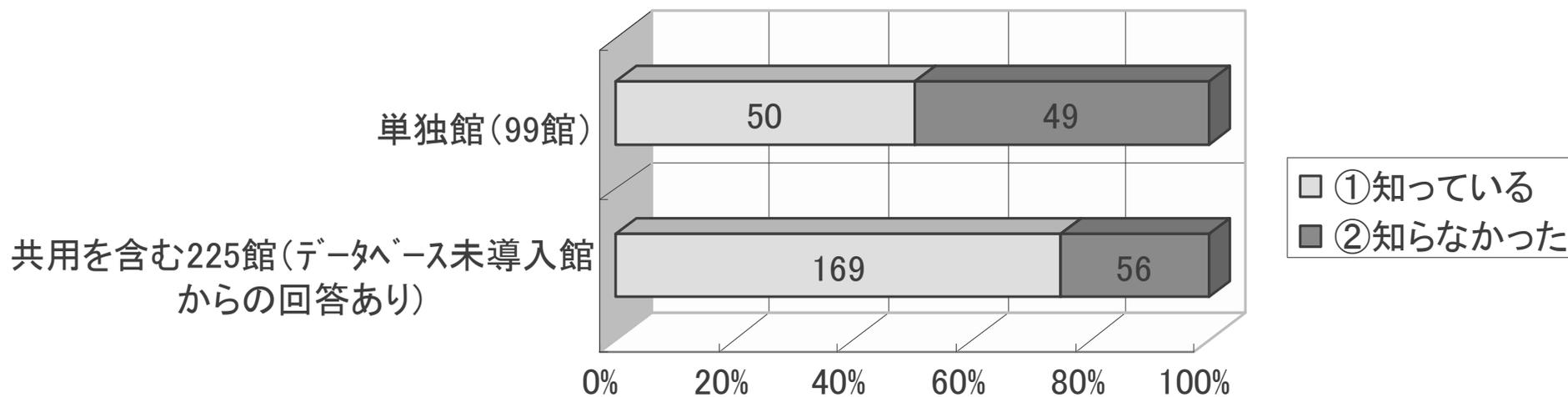
○導入のメリットは、検索が容易で利便性が高いと、ほとんどの館で評価がよい。

○導入のデメリットは、価格が高い、継続的に予算が必要、ブラウジング利用に向かないという回答があった。ただし、デメリットは特にないと回答している館が約7割であった。

○導入後の紙媒体を中止をした館が191館中25館(13%)と少ない。その理由として、利用者からの要望や図書館として必要という回答があった。

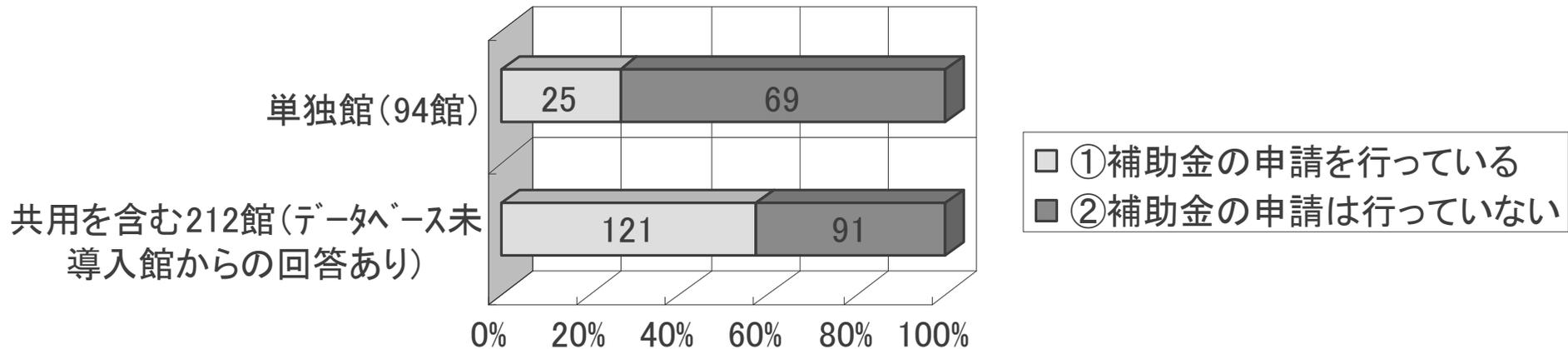
## 5. データベースは補助金の対象となっています

データベースの導入に当たり、補助金の対象となっていることについて、単独館では約半数が知らなかったと回答している。共用を含む館でも、約1/4が知らなかったという。



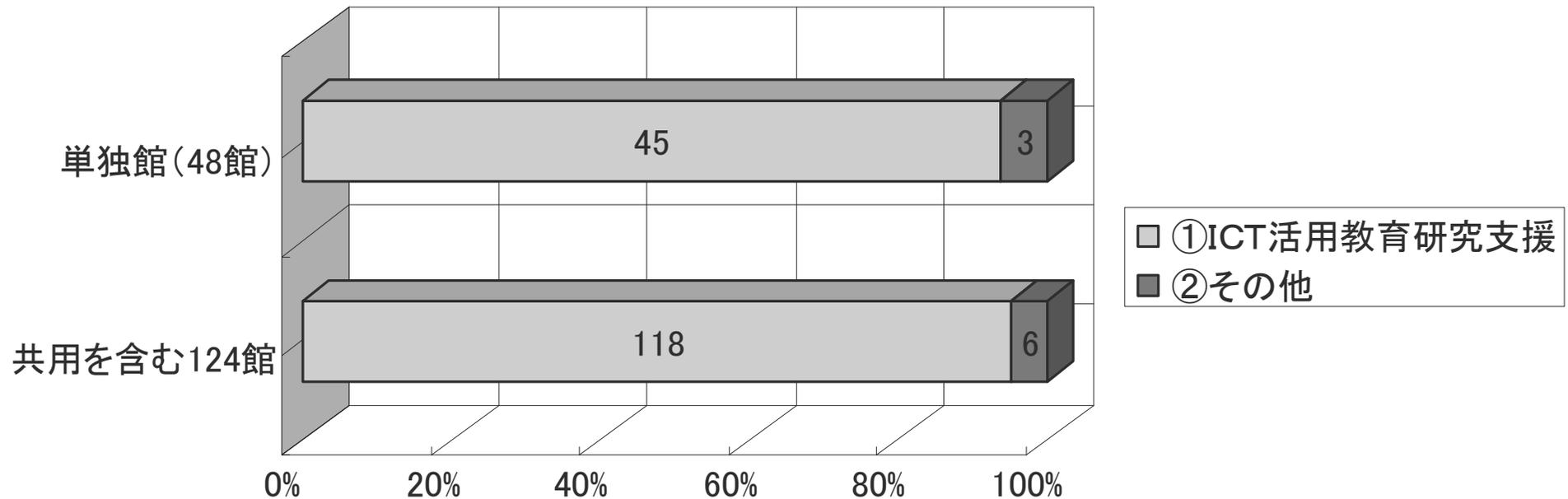
# (1) 補助金の申請について

補助金の申請については、単独館では半数が申請を行い、共用を含む館は、約7割が申請を行っている。



## (2) 申請された補助金の種類について

申請した補助金は、単独館と共用を含む館ともに、「ICT活用教育研究支援」によるものがほとんどである。



### (3)「ICT活用教育研究支援」以外の補助金について

- 教育・学習方法等改善支援(継続)
- 私立大学等経常補助金
- 国立情報学研究所接続ソフトの維持費用について「教育研究情報の電子化」の補助金を申請

## 6. データベースに関する質問等について

- OPACはデータベースから除外した。
- 補助金の申請は法人本部でやっているなので実態はわからない。
- 大学と共用なので、大学が補助金申請を行っている。契約料金は学生数で案分しており、その金額を契約料の欄に記入した。
- CiNiiで全文公開の紀要の受入を中止。
- 短大協会でコンソーシアム組織があるのか？ どのようなシステムか？ メリットは？  
→ コンソーシアム組織は、現在ありません。

# アンケートのまとめ

I. 今回実施した「データベースの導入状況について」のアンケート調査から、次のような結果が得られた。

- ・ 最初に調査して回答のあった263館中、195館(約3/4)がデータベースを導入し、短大のみの単独館では125館中の66館(約半数)が導入している。
- ・ 未導入館の66館中43館(65%)、単独館の57館中37館(65%)は、今後も導入予定がない。
- ・ よく利用されているデータベースは、CiNii(国立情報学研究所論文情報ナビゲータ)、聞蔵(朝日新聞記事)、医中誌、日経テレコン(含、日経PB)、ジャパンナレッジ、ヨミダス(読売新聞記事)などで、費用が比較的安く、利便性の高いものや、新聞などの一般教養に必要なデータベースの導入が目立つ。
- ・ 契約形態については、ほとんどが定額制で利用している。
- ・ 利用者は、ほとんど学生と教職員である。

- ・ 説明会等の実施の有無については、半数以上の館(58%)で開催している。
- ・ 導入のメリットは、検索が容易で利便性が高いと、ほとんどの館で評価がよい。
- ・ 導入のデメリットは、価格が高い、継続的に予算が必要、ブラウジング利用に向かないなどである。ただし、デメリットについては、特にないと回答している館が約7割である。
- ・ 導入後の紙媒体を中止した館が191館中25館(13%)と少ない。その理由として、利用者からの要望あるいは図書館として紙媒体は必要という回答である。
- ・ データベースの導入に当たり、補助金の対象となっていることについて、単独館では約半数が、調査した263館中では、約1/4が知らなかったという回答である。
- ・ 補助金の種類については、「ICT活用教育研究支援」がほとんどである。

以上

## Ⅱ．今後の短期大学図書館におけるICT活用の将来像

### ◎利用者の学習・研究支援のためのICT活用

- 図書資料の電子化への動きは避けられない  
電子化されたデータのICT活用は必要  
そのための図書館職員のスキルアップは欠かせない

### ◎ データベースの導入によるICTの活用

- 検索が容易にできるため、データベースは、今後も活用されるであろう。  
データベースの価格が年々上昇するのが問題  
フリーアクセス(無料)のデータベースの利用。この場合のデータの信憑性をどのように確認すればよいのか。

### ◎補助金などの外部資金の利用

- 学内の他の部署(財務課等)との調整が必要

### ◎人員の補充

- 大学独自のデータベースの構築のための人員確保が必要。  
外部委託にすべてを任せてもよいのか？

ご清聴ありがとうございました

日本私立短期大学協会

図書館情報委員会第三分科会委員一同